

IPO銘柄 エコモット (3987・札証アンビシャス)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3987	100株	公募: 1.20万株 売出: 15.00万株 (OA2.40万株)	2,470円~2,730円 (26.0倍)	岡三証券

■ 日程



IoTプラットフォーム「FASTIO」を展開

■ 事業内容

IoT (モノのインターネット) 分野でIoTインテグレーション事業を手掛ける。IoTソリューションの企画と、それに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発、クラウドサービス運用などの業務をワンストップで提供。IoTプラットフォームをベースとしたシステムインテグレートによるソリューションでIoTプラットフォーム「FASTIO」を展開。パッケージサービスを中心としたソリューションでは、融雪システム遠隔監視ソリューションの「ゆりもつと」や建設情報化施工支援ソリューション「現場ロイド」、交通事故削減ソリューション「Pdrive」を手掛ける。IoTインテグレーション事業の単一業態。

■ 特徴

IoTプラットフォームの「FASTIO」はクラウドタイプで、IoT運用により大量に発生するセンサーデータをリアルタイムかつ効率的に扱うための各種機能を実装する。標準アプリケーションで画像や動画管理、遠隔接点制御、位置情報管理などに対応しており、様々な産業、市場への利用が可能となっている。

アナリストコメント

■ 定量分析

18年3月期の非連結経常利益は前期比6.8%増の1億円を計画している。多角的ソリューションの提供によって「FASTIO」の顧客基盤が拡大しており、「現場ロイド」の販売も増加。「ゆりもつと」と「Pdrive」の新規導入数も増加している。

■ 定性分析

地方新興市場への上場案件は初値買いが入りにくかったものの、ここ数年は上場案件数が減少したこともあって傾向がつかみにくくなっている。IoT関連は相場テーマとして強力で、初値買いが極端に少なくなることもなさそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は5億円。通常のIPO案件としては小粒な規模だが、地方新興市場へのIPOはここ数年、1~3億円の案件がメインとなっている。不透明感が残るが事前の人気は高く、吸収可能な規模とみる。

(小泉健太)

■ 類似企業

エコモット(3987・札証アンビシャス)	予想PER26.0倍 (仮条件上限)
ユビキタス(3858・JASDAQ)	予想PER —
JIG-SAW(3914・マザーズ)	予想PER —

■ 引受証券

岡三証券、SMBC日興証券、SBI証券、上光証券、松井証券、SMBCフレンド証券、エイチ・エス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年3月期(実績)	738	7.8	11	▲76.5	6	▲81.5	10.8	—
17年3月期(実績)	1,371	85.5	93	8.1倍	66	10.0倍	108.3	—
18年3月期(会社予想)	1,500	9.4	100	6.8	65	▲1.6	105.0	—

※ 17年2月に株式分割(1株→200株)を実施。16年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	3,050	542	180	53	296.5	33.4	21.9
16年3月期	3,050	565	187	53	307.3	33.1	3.6

※ 15年3月期および16年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	入澤 拓也	242,000	34.44
2	北海道しんきん地域活性投資事業有 限責任組合	175,000	24.91
3	しなねん商事	116,000	16.51
4	松永 崇	52,000	7.40
5	テラスカイ	22,000	3.13
5	北洋銀行	22,000	3.13
7	北海道ベンチャーキャピタル	7,400	1.05
8	花田 浩二	6,000	0.85
9	工藤 貴史	5,600	0.80
10	五十嵐 誠	3,000	0.43

経営陣

役職	氏名
代表取締役	入澤 拓也
取締役(開発部長)	松永 崇
取締役(営業部長)	花田 浩二
取締役(管理部長)	工藤 貴史
取締役(事業企画部長)	五十嵐 誠
取締役	小山 裕貴
常勤監査役	塚田 修治
監査役	加藤 一裕
監査役	奥山 倫行

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。